

平成29年9月 第4回大木町議会定例会議事日程(第16日)

日時 平成29年9月22日 午前9時30分

議件 一般質問

順位	質問者	質問事項
1	12番 牟田口 美智子	<p>地域創生関連事業を含めた「道の駅」全体の活性化について</p> <p>1、「子ども農村交流プロジェクト事業」について。 ①平成26年度から平成28年度までの春日北小学校との交流事業における成果と課題及び事業費について。 ②今後の事業の継続と展望について。3年間の事業実績を踏まえて、29年度以降はどのようにステップアップしていくのか。特に「民泊受け入れ家庭」や「おおきマルシェ」の展望について。</p> <p>2、道の駅内にある「ママと赤ちゃんの部屋」の利用促進について ①利用状況や利用促進のための取組み状況について。 ②「ママと赤ちゃんの部屋」の町内外へのPRについて。</p> <p>3、「大木町地域創業交流支援センター」の役割と機能について ①地域の稼ぐ力と「食」と「農」を中心とした魅力ある町づくりを進めるため、また町内外へと情報発信し、多くの人が集える場・交流する場を作り上げるための拠点施設として有効活用するためのプロジェクトマネージャーの役割や運営組織について。 ②「オープンキッチン」の活用方法について。特に、「日替わりカフェベース」の具体的な内容について。</p>
2	1番 益田 隆一	<p>1、本町における大木町公共施設地球温暖化対策実行計画の進捗状況はどうなっているのか。 ①2030年度までに町の公共施設全体で、2013年度比40.7%の温室効果ガスの削減を目指すとありますが、その進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>②今年5月号の大木町広報紙で大々的に書いてある内容で、かなり大きな目標を掲げている内容ですが、残り13年間で本当に実現するのか。</p> <p>③2008年に公表した「大木町もったいない宣言」も前年度がその目標の年でした。次のステージに向けて今後10年、20年後の目指している大木町のあるべき姿をどのように描いて、考えているのか。</p>
3	5番 古賀 知文	<p>民生委員制度創設100周年にあたり</p> <p>1、民生委員児童委員に対する町長の考えについて。</p> <p>2、民生委員児童委員協議会の今後のあり方について。</p> <p>①民生委員児童委員の活動が、地域に理解されていない、効率的に動いていないのではないかな。また、結果としてサポートを受けがたくなっているのではないかな。</p> <p>②民生委員児童委員の活動内容について間口が広すぎて負担になっているのではないかな。</p> <p>③民生委員児童委員はボランティアということから、現役で働いている人の選任は難しいのではないかな。また、民生委員児童委員の高齢化問題等があるのではないかな。</p> <p>④関係機関とのパイプ役としての立ち位置が難しく、どこまで踏み込んで良いか悩ましいという意見が多くあるが、どのように対応すべきか。</p>

4	<p style="text-align: center;">8番 中島 宗昭</p>	<p>1、花宗川改修の早期実現を願う。 ①花宗川改修の進捗状況と今後の計画見直しは。</p> <p>②花宗川左岸筏溝中村商店より観音丸水門までの堤防舗装整備の計画は。</p> <p>2、新規就農者給付金事業活用事業者の現況と課題及び対策を伺う。 ①本町における農業次世代人材事業活業者(H24～H28)の推移は。</p> <p>②受給者決定の審査方法は。</p> <p>③本町において、受給不適格者及び離農者はいないのか。</p> <p>④就農後の営農指導は的確になされているのか。</p>
5	<p style="text-align: center;">9番 古賀 泰弘</p>	<p>1、町道10号線の進捗状況と5号線の現在の状況について ①町道10号線自転車歩行者用道路整備事業の進捗状況と完了予定を伺う。</p> <p>②大溝小学校から大木中学校へ通ずる町道5号線(通学道路)の自転車歩行者道路整備事業は、29年度より取組むとの予定でしたが、未だに話はなく、今後の計画等伺う。</p> <p>2、特産物への取り扱いと今後の町の考え方を伺う。 ①わが町の特産物として、苺をはじめ、きのこ類、アスパラガス、ネギ等農産物が数多く作られている。そのような中、環のめぐみ、環のかおりについても町のブランド品目のひとつとして生産振興に努められているが、今後の特産品の振興について考えを伺う。</p>